

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

				課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	323	
事務事業名				会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	単年度	
				開始	S47	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市スポーツ推進計画				
	法令・例規等							
事業目的		対象	社会体育施設（施設数：44）学校開放施設（施設数：56）					
		意図	利用者が安全で良好な環境のなか体育施設の使用ができ、かつ効果的・効率的に活用されるよう運用を図ります。					

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	・社会体育施設及び学校体育施設の保守点検、改修工事、物品の管理等を実施しました。施設の老朽化のほか時代にそぐわない設備等もある中、利用者の安全確保及びニーズを把握して整備を行いました。また、民間の持つ専門性やノウハウを活用するため、一部施設では指定管理者制度を導入して管理運営を行いました。 ・教育委員会施設等総合管理計画を策定し、誰もがスポーツに親しめる環境の実現に向けて施設整備方針を定めました。 ・コロナ禍で施設使用の制約がありましたが、市有施設のガイドラインに沿って、感染リスク回避の対策をとりながら利用者の安心利用を確保しました。			会計年度任用職員人件費			29,603					
				体育施設管理費（保守委託、管理経費等）			160,644					
				体育施設管理費（指定管理料）			32,556					
				体育施設管理費（長寿命化計画策定業務）			4,239					
				体育施設改修費（修繕、工事）			9,893					
				社会体育学校開放管理費（保守委託、管理経費等）			8,295					
				社会体育学校開放施設整備費（修繕、工事）			3,000					
				その他の経費			0					
				活動指標			指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
体育施設年間利用者数			人	880,000	891,132	880,000	919,539	880,000	840,147	880,000	561,130	
不具合の発生件数			件/年	0	0	0	0	0	0	0	0	
メンテナンス以外の施設の休止日			日数	0	0	0	0	0	0	0	52	
2年度決算(千円)			予算額	257,818		特定財源内訳及び補足事項						
			決算額	248,230		(県) 飯田運動公園管理委託金						
財源の状況			国庫支出金	0		(そ) 広域的体育施設使用料 5,877千円、(そ) 地区体育施設使用料 464千円、						
			県支出金	16,274		(そ) 社会体育学校開放施設使用料 100千円						
			地方債	0		(そ) 飯田運動公園使用料 2,487千円、(そ) 電話使用料 23千円、						
			その他	12,477		(そ) 体育施設雑入 465千円、(そ) プール光熱費負担金 2,461千円、						
			一般財源	219,479		(そ) 社会体育施設整備寄附金 600千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	10	1	204,308	197,439	体育施設管理費
2	1	10	6	2	11	3	10,191	9,893	体育施設改修費
3	1	10	6	3	10	1	9,811	8,295	社会体育学校開放管理費
4	1	10	6	3	11	2	3,158	3,000	社会体育学校開放施設整備費（単独）
5	1	10	6	2	1	3	30,350	29,603	会計年度任用職員人件費
6									
7									
振返り課題認識		施設の老朽化が進む中、緊急性及び安全性を考慮した施設整備が求められています。教育委員会施設等総合管理計画に基づき、誰もがスポーツに親しめる環境整備及び応急避難施設としての役割を踏まえ、計画的な施設整備と利用者の安全安心及び利便性を考えた施設の管理運営が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		日常的な施設等の管理点検により不具合箇所の把握に努め、緊急性・安全性を考慮した修繕・整備が必要です。また、各施設の利用実態や利用者ニーズの把握するとともに、教育委員会施設等総合管理計画の施設整備方針に基づき、計画的な施設整備を行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		施設設備の日常点検及び専門的な点検を行い、安全で快適に利用できるよう必要な改修・修繕を行います。また、教育委員会施設等総合管理計画に基づき、整備方針に従ってトイレの洋式化を進めます。利用実態、利用状況を把握し、公共施設マネジメントの考えに沿って将来的な施設の在り方を研究していきます。							